



一般社団法人

千歳青年会議所

事務局

〒066-0042

北海道千歳市東雲町3丁目2-6 千歳商工センター 1F

TEL/FAX : 0123-24-6868

URL : <http://chitose-jc.com/>

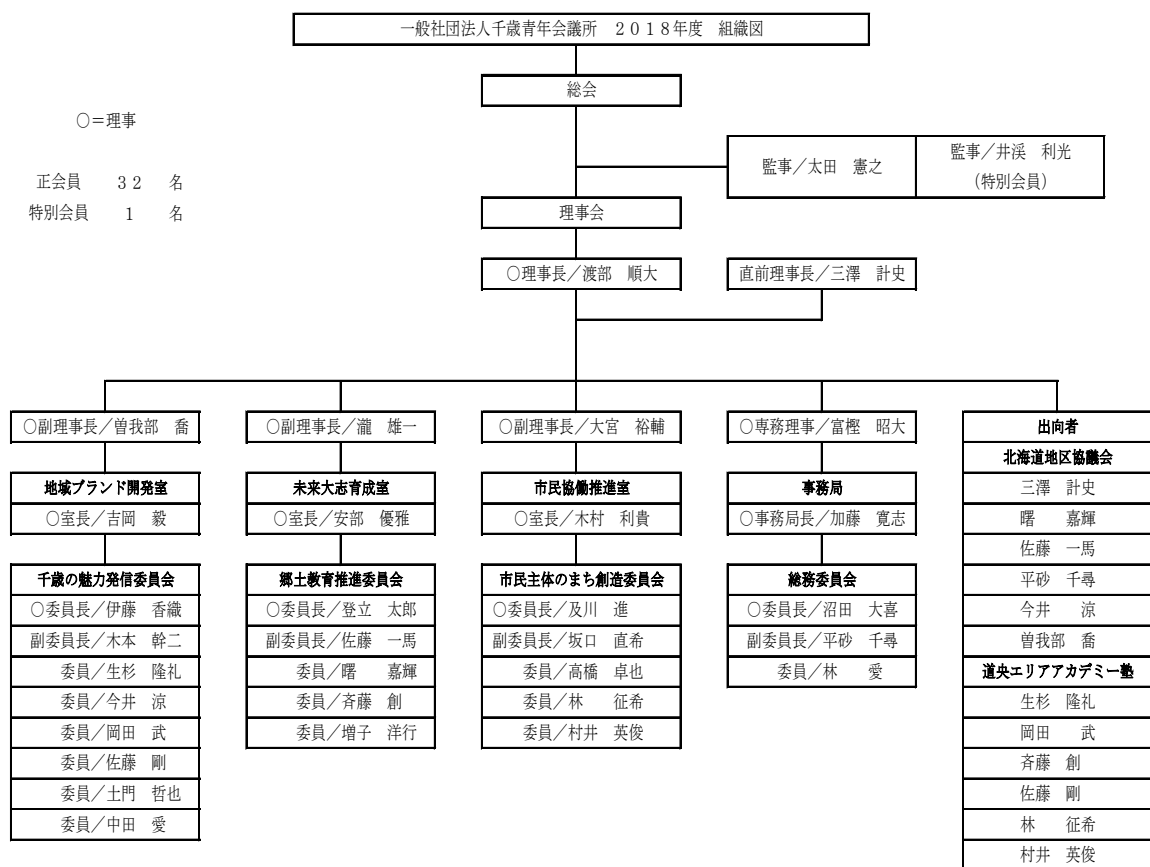
E-mail : mail@chitose-jc.com

水のまち、空のまち、
千歳を彩る燈りとなれ

目次

組織図	(2)
理事長報告	(3)
事業・例会報告	(5)
外部事業報告	(1 4)
活動報告	(1 5)
1. 直前理事長 三澤 計史	
2. 副理事長 曾我部 喬	
3. 副理事長 瀧 雄一	
4. 副理事長 大宮 裕輔	
5. 専務理事 富樫 昭大	
6. 監事 太田 憲之	
7. 監事 井溪 利光(特別会員)	
8. 千歳の魅力発信委員会 委員長 伊藤 香織	
9. 郷土教育推進委員会 委員長 登立 太郎	
10. 市民主体のまち創造委員会 委員長 及川 進	
11. 総務委員会 委員長 沼田 大喜	
出向者報告	(2 1)
1. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 北海道創生室 室長 三澤 計史	
2. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 広報渉外委員会 委員長 曙 嘉輝	
3. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 広報渉外委員会 幹事 佐藤 一馬	
4. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 広報渉外委員会 委員 平砂 千尋	
5. 道央エリアアカデミー塾 塾生 生杉 隆礼	
6. 道央エリアアカデミー塾 塾生 岡田 武	
7. 道央エリアアカデミー塾 塾生 斉藤 創	
8. 道央エリアアカデミー塾 塾生 佐藤 剛	
9. 道央エリアアカデミー塾 塾生 林 征希	
10. 道央エリアアカデミー塾 塾生 村井 英俊	
会員褒賞報告	(2 5)
会員拡大メッセージ	(2 6)

2019年度理事長 曾我部 喬



理事長報告



2018年度 一般社団法人千歳青年会議所
第55代理事長

渡部 順大

※初めに※

日頃より一般社団法人千歳青年会議所の事業及び活動に対し、関係各所並びに千歳青年会議所先輩諸氏の皆様には、多大なるご協力を賜り深く御礼申し上げます。

千歳青年会議所50年を超える歴史の中で、地域の皆様のご理解にも恵まれ、まちづくりに必要とされる団体として邁進して参りました。

現在全国各地の青年会議所と同様に千歳青年会議所も人的不足という社会的な課題とも直面しております。しかし、私たち青年会議所正会員は、熱い想いと行動力を持って、千歳のまちに寄与する団体として精一杯活動致しましたので、3つの行動提案に沿った運動と、本年の組織運営についてご報告申し上げます。

※地域の魅力輝く千歳創造運動※

本運動は、恵まれた自然環境を有した千歳の地域資源をいかに活用していくかを課題として取り組んで参りました。千歳川を地域資源としその魅力を発信する為、千歳川清掃を行い、また千歳青年会議所最大の事業「CHITOSE RIVER CITY PROJECT」も開催致しました。毎年、ご来場頂く方々を飽きさせない為に私たちは創意工夫し、本年は、「千歳川テラス×イルミネーション」をコンセプトとし、昨年ご好評を頂いた千歳川テラスを中心に北海道命名150年ロゴ、川沿いの桜並木を6千個のLEDでライトアップさせ美しい千歳川を創出致しました。

今後も千歳青年会議所は、地域資源を生かし、いかに魅力的かを発信する事により市外、道外、そして国外からの多くの来道者に私たちのまち「千歳」を記憶に残せて頂けますよう邁進致します。

※ふるさと愛溢れる千歳創造運動※

地域に対する愛着、帰属意識が未来の千歳を発展させ、明るい豊かなまちを創るという考えから、未来を切り開く子供たちと責任世代である我々大人たちが、共に自身が住まうまちの事を楽しく学びながら、地域に関心を持てる機会を創出して参りました。ふるさと千歳への愛を育み、地域活動に積極的に参加する市民が増えれば、そのエネルギーによってまちは活性化すると考えます。

また、若い世代へのふるさと愛を育む機会の場合として「千歳ふるさとサミット2018」も開催致しました。今後も家族、友人、人生の中で多くの出会いをもたらし、育ててくれたふるさとへの愛を発信していく若者の育成を使命とし、ふるさと愛溢れる千歳創造運動を実践して参ります。

※志高い市民集う千歳創造運動※

市と市民が一体となり、まちを、未来を、より良いものにしていくというまちづくりに、参画出来る機会を創出する、市民の皆様と積極的に関わりまちを活性化させていく。スノーバスターズ、千歳ウェルカム花ロード、千歳川清掃、市民討議会など様々な事業を通して、市民の皆様と交流を深めて参りました。また、会議所内メンバー間でも議論の場を設け、親交を深め円滑な青年会議所活動を行って参りました。今後お互いの価値を認め合い、その力をまちの皆様の為に発揮して参りたいと考えます。

※笑顔の燈る組織づくり※

近年、私たちを取り巻く環境の大きな変化として人口減少に伴う会員の減少も大きな課題でした。どのように青年会議所の事業、活動を行えば、共感して頂ける仲間を増やせるのか。多くの地域の皆様に愛される人材となり得るのか。

本年の正会員には、自分たちが行う事業、活動をどのようにすれば、厳しさの中に楽しさを見つけ学べるのかを課題とし、熱い想いを胸に抱き、そして行動に変え、地域へ還元して参りました。その結果、千歳青年会議所メンバーの笑顔という燈りを見て、新しい仲間と出会い、共に千歳のまちを豊かにしていく事に貢献出来たと考えます。

※結びに※

本年は、「水のまち、空のまち、千歳を彩る燈りとなれ」をスローガンに様々な事業、活動を行って参りました。特に上記でも触れた会員拡大にも付随致しますが、私たち会員一人ひとりが青年会議所の活動の厳しさの中に楽しさを見つけ、自然と笑顔の燈る団体にしていく事も、本年度の理事長として一つの大きな目標となっております。おかげさまで、総じて年頭に理事長としてご挨拶させて頂いた所信を完遂出来ましたのも、千歳青年会議所の事業、活動に多大なるご支援、ご協力、ご理解を頂きました、関係各所並びに先輩諸氏、そして会員ご家族の皆様、深く御礼申し上げます。また、1年間という限られた時間の中で、理事長職を全う出来た事にも、重ねて御礼申し上げます。

1年間、本当にありがとうございました。

事業・例会報告

2018年度1月例会(新年交礼会)

日時	2018年01月16日(火)18時～20時30分
場所	ANA クラウンプラザホテル千歳 2階 千歳の間
テーマ	水のまち、空のまち、千歳を彩る灯りとなれ
主管	千歳の魅力発信委員会

【委員長所見】

毎年行われる新年の幕明け、新体制のお披露目である新年交礼会です。毎年同じ事の繰り返しでは折角の新年度の幕明けが勿体ないと思い今年は新しい風を吹かせると共に伝統も受け継がれた新年交礼会となったと思います。J Cだからこそ出来る、J Cじゃなければ出来ない、その言葉と行動から始まるのが新年交礼会だと思います。一人ひとりが生き生きとして輝く姿を多くの方々にみて頂く事で自分へのスイッチが入る瞬間だと思います。これからも千歳青年会議所の色を発信して活動していきます。



2018年度2月例会

日時	2018年02月23日(金)17時～20時
場所	千歳市支笏湖温泉 青の祭り会場
テーマ	千歳J C！俺たちも青く彩ろう、氷濤まつり40周年！～青の祭りで2月例会～
主管	市民主体のまち創造委員会

【委員長所見】

今例会は、来場者へのおもてなしと、千歳青年会議所の運動に対する意識を高め、一人ひとりが広報力を磨くということを目的に実施しました。支笏湖を思う先輩からの現地での講話は、氷濤を目の前にリアリティを感じることができ、まちづくりや運動実践をしていく意識を高められたと思います。また、メンバーが一般来場者と触れ合い、おもてなしする姿を見た時、来場者の笑顔、メンバーの笑顔が沢山あったことは印象的でした。来場者との触れ合いから学ぶ、それぞれの運動方針や事業に取り向かう意識高める事を学ぶことができました。メンバーが楽しむという視点を重点に組み込みシナリオを作っていた委員会メンバーに感謝すると共に、参加頂きましたメンバーの笑顔が来場者の笑顔を生みだして頂けたことに重ねてお礼申し上げます。今回の例会をきっかけに楽しみながら市民の声を発信していく運動を実践していきたいと存じます。



2018年度3月例会

日時	2018年03月21日(水)10時～12時
場所	北ガス文化ホール4階 大会議室
テーマ	千歳JC塾 C-PRIDE 今ない未来は僕たちが創る！
主管	郷土教育推進委員会

【委員長所見】

例会では昨年の事業の優勝チームの高校生と、千歳市観光企画課の方に講師をして頂き、大人も子供も千歳のことを楽しく学び、その後実施したちとせっ子博士検定では受験者全員が合格することができ、多くのちとせっ子博士を誕生させることができました。称号を得たことにより思い出に残り、また自信に繋がり、今後のまちづくりへの関心を持つきっかけになったと感じております。しかし、保護者や教職員の十分な動員があったとは言えず、また運営面においても反省点があり、それらの反省を今後の課題として委員会で検証し、例会、事業へと活かしていきたいと思います。



2018年度4月例会

日時	2018年04月30日(月)10時～12時
場所	千歳市民スキー場
テーマ	千歳の新たな魅力の創出へ踏み出す一歩
主管	千歳の魅力発信委員会

【委員長所見】

本年度は地域の新たな魅力を発信するために、空港から最も近い千歳市民スキー場を利用させて頂きました。本例会を通じて外部の方々に参画を頂き、千歳の新たな魅力を人から人へと伝播する事が出来たと共に、メディアを通じてスキー場の有効活用方法について発信出来た事で、例会目的は達成出来たと思っております。踏み出した一歩を大きな歩みとする為には、行政や市民の皆様、関係諸団体の方々と向うべき方向性を共有し、継続的に運動を展開、発信していく事が必要だと考えます。



2018年度5月例会

日時	2018年05月23日(水)18時半～21時
場所	千歳市スポーツセンターダイナックスアリーナ
テーマ	絆を深めよう！3LOMの輪 春の大運動会
主管	市民主体のまち創造委員会

【委員長所見】

当例会は、正会員個々の成長を高めるというよりは、3LOM間の交流を深める為のきっかけを作る為にチーム編成を6人程度とし、チーム内でのコミュニケーション量を重要視し組み立てさせて頂きました。交流を深める為のファーストステップは出会う事。そして関わり、人となりを知る事が重要なプロセスであると考えています。限られた時間の中で多くのメンバーと関わる事の重要性も感じながら、チーム単位での関りを深めることの重要性も感じ例会を構築しました。競技を複数重ねる事で、チーム内でのコミュニケーション量も豊かになった過程を見られたのではと感じています。しかしながら今回計画書を振り返ると、会員拡大の目的についてはオブザーバー参加が一人も叶わず目的達成はできませんでした。この過程において自身で振り返ってみると、3LOM間での調整がお互いに満足にいくものではなく、例会直前まで議論が一致しなかった事等が自信を持って来場できる例会として、オブザーバーへの声が出来なかったものと自身の中で抱いた迷いと共に振り返っております。対外目的については多いに反省が残る例会となってしまいました。対内目的につきましては、これからチームで関わった3LOMのメンバー同士が地域の一端を担う青年経済人として、個々のつながりから絆を育み、それぞれのLOMの活性化から地域の発展に寄与することに期待が出来ると感じました。歴史ある3LOM合同例会です。今後もますます3LOM間の親睦を深め、この地域を支えていくことと、お互いに成長できる存在でありたいと感じた例会でありました。3LOM合同例会の今後の開催について合同委員会内での見解は、3LOM例会の長い歴史及び例会事業継続している観点から、今後も継続していくことが望ましいと考えています。合同例会が毎年度予定されているからこそ必然的にLOM間の交流ができる機会です。もしなければその交流は無かったと思われます。実際に3LOM合同例会を通じて知り合ったメンバーが沢山います。この交流が無ければ出会うことはありません。強い絆ではないかもしれませんが、この経済圏を支える地域同士の繋がり必要性はあります。



2018年度6月例会

日時	2018年06月02日(火)10時～12時
場所	千歳タウンプラザ 1階 イベントスペース
テーマ	千歳JC塾 C-PRIDE 今ない未来は僕たちが創る！
主管	郷土教育推進委員会

【委員長所見】

当例会を開催するにあたり、根幹となることは子供たちを集めることでしたが、メールやFAXでの申し込みが極端に少なかったことから、例会メンバーは参加者集めに奔走しましたが、動員計画より少なかったことは検証結果を踏まえ、次回に繋げていく所存です。しかし、参加頂いた子供達からは千歳の開拓の歴史の授業も丸太切りも初めての体験だったようで、花植えも含め楽しく勉強していたようで、一緒に参加した保護者の方にも子供たちと一緒に学ぶことの大切さを感じて頂けたと思っております。当日の運営面では3月例会の反省を生かし、準備とリハーサルを行った結果、大きなミスがなく進めることができたと感じています。



2018年度7月例会

日時	2018年07月12日(木)17時～19時
場所	山猫バトルフィールド
テーマ	みんなでサバゲーしようぜ！
主管	三役

【専務理事所見】

2018年度体制がスタートしてから半年が経ち、各委員会でも活発に例会事業に向けて忙しく日々動かれており、現三役としては、理事長所信にある「一人ひとりの笑顔が、仲間の力になる」との基本理念に立ち返り、残る後半の例会・事業に向けて各委員会の垣根を超えて一致協力して進んでほしいとの意図もございました。例会内容も、これまでの千歳JCにはなかった手法を取り入れたことは、賛否もありますがこれまでの慣習にとらわれず新たな例会の形を切り開きたいとの三役の想いもありこのような例会を開催させていただきました。ただし会員拡大対象者に関しては、結果的に一人も呼ぶことができず、対外目的を達成できなかったことは、三役として大きな反省でもあり、会員一人一人の力が千歳JCの原動力となることを改めて再認識し、残りの例会・事業、会員拡大に取り組んで参りたいと考えております。



千歳ふるさとサミット2018

日時	2018年08月09日(木)
場所	北ガス文化ホール 中ホール
テーマ	僕たちが描く千歳の未来
主管	郷土教育推進委員会

【委員長所見】

今年で第4回目となるふるさと事業は、市民の皆様のふるさとに対する意識の向上と責任世代であるメンバーの皆様にはふるさと愛醸成運動の重要性を再認識していただく目的で開催致しました。さらに、事業を大成功させるために会場を満席にするという動員計画がありました。本年度は、クロージング演出で千歳高等学校吹奏楽部の演奏や企業や団体の皆様に出欠返信ハガキを同封し案内状を送付し、またメンバーの皆様には来場者リストを渡し、最低10名を呼んでいただくよう働きかけた結果、昨年度より100名程度の来場者を増やすことはできましたが、残念ながら計画の満席にすることはできませんでした。また当日に、出場チームが急遽欠席するという大きな失敗や、打ち合わせや段取不足による失敗も多々ございました。しかしながら、来場された多数の方に、「素晴らしいことをやっている団体だね」「来て良かった」というようなお褒めの言葉をいただけたことは、個人的にも組織としても大変嬉しく感じているところであります。



2018年度8月例会

日時	2018年08月20日(月)18時～21時半
場所	千歳市民納涼盆踊りグリーンベルトメイン会場
テーマ	浴衣の女王選手権&こどもパレード
主管	千歳の魅力発信委員会

【委員長所見】

今年で8回目となる「浴衣の女王選手権」を開催し、本年度は初の試みとして、「こどもパレード」を開催することにより、更に多くの世代関係ない市民の方達に興味と感心をもってもらえたことにより一体となり地域の活性化の一つに繋がったと思います。そして、正会員の皆様に事前に踊りの練習の一つとして三役、委員会メンバーに踊りの風景を撮影し共有することによって真剣に例会に取り組む姿が向上出来き、例会の目的は達成出来たと思います。



CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2018

日時	2018年08月25日(土)～26日(日)
場所	千歳川河畔公園及び河川敷
テーマ	「千歳川テラス × イルミネーション」～川辺にワイン～
主管	千歳の魅力発信委員会

【委員長所見】

今年初めて委員長をさせて頂き、千歳青年会議所事業の1つであります、リバーシティープロジェクトを担当させてもらい、事業とは何か、青年会議所とは何かがものすごくわかりました。今年5年目という折り返しの事業で、会場をどう創出し、来場者の方達に来て良かったと思われる、来ていない人達に発信していけるかを考え、今年は千歳川テラスをパワーアップさせ、夜も千歳川の良さを知って頂く為に、夜桜と扮してイルミネーションを施す演出が出来ました。その中で自分の至らない部分でのサポートを委員会メンバー、正会員の皆様に助けて頂き無事に終える事ができたと思っています。



2018年度9月例会

日時	2018年09月27日(木)18時30分～20時40分
場所	千歳防災の森
テーマ	火を見つめ自分を見つめる ～仲間と共にかたるべ例会～
主管	市民主体のまち創造委員会

【委員長所見】

本例会は委員会の垣根を超え「語る」ことを目的に実施させて頂きました。火の効果や野外環境の力も相まって、日頃のディスカッションとは異なる深い意見交換が出来たと感じています。今更かもしれませんが今例会は、委員会メンバー全員で組み立て、また委員会メンバー個々の力が発揮できる準備や運営で臨ませて頂きました。その結果が野外でも室内の様な設えであったり、懇親会もサブテーマでもある「火」を使う事とJC活動の振り返りが出来る環境の提供であったりと、現委員会ならではの形を表現し、正会員の皆様へおもてなしできた事に喜び申し上げます。委員会メンバーとの繋がりを強く感じた事と、千歳青年会議所メンバーの熱い思いや悩み・課題を共有できた事はこのまちで活躍する青年経済人としてのモチベーションや財産になったと思います。そして、そのモチベーションの力を生むのが千歳青年会議所の1つ1つの事業があつてこそではと感じました。



2018年度10月例会

日時	2018年10月13日(土)10時～15時
場所	千歳インターゴルフ練習場跡地
テーマ	千歳ふるさとまつり2018
主管	郷土教育推進委員会

【委員長所見】

はじめに郷土教育推進委員会最後の担当例会である「千歳ふるさとまつり2018」が盛会の元無事に終える事ができ、皆様のご支援ご協力に心より感謝を申し上げます。当委員会では、一人でも多くの市民の皆様に来場頂き、特段子供たちが楽しみながらふるさとの事を知り、思い出に残す事により、ふるさと愛醸成のきっかけづくりになるべく、このような例会を開催いたしました。結果は、戦闘車との綱引きを初め、地元チームによるステージイベント、更に千歳の企業・団体様にご協力頂き、働く車に接する事ができるコーナーを設けた事により、多くの子供連れのご家族に来場頂き、たくさんの笑顔が溢れる例会とすることができました。子供たちの笑顔に触れる事ができたのは、私、そして委員会メンバーにとっても大きな自信と喜びとなりました。このふるさと愛醸成の運動はすぐに結果が出るものではありませんが、千歳の明るい未来を信じ、これからも継続していく事が大切だと改めて強く感じております。私ごとになりますが、卒業する最終年度に委員長をさせて頂き、ふるさとへの想いはこの1年で大きく変わり、そしてこの代えがたいJCでの経験を糧に、これからも地域の為に邁進して行く所存です。至らぬ点が多くご迷惑をお掛けしましたが、多くの皆様に支えて頂きこれまでやって来ることができました。本当にありがとうございました。



2018年度11月例会

日時	2018年11月08日(木)19時～21時30分
場所	ベルクラシック リアン 平安閣
テーマ	千歳青年異業種交流会2018～集え！まちの未来を担う青年達～
主管	次年度三役

【次年度理事長所見】

今回の例会は、オブザーバーの皆様は青年会議所の魅力を感じて頂き、入会のキッカケとして頂くこと目的に開催をいたしました。また、オブザーバーが退屈にならないよう例会を二部制の150分に設定してスピーディーな進行を意識いたしました。第一部として千歳JC特別会員であり現役時代には会員拡大特別会議議長も経験された高田周一郎先輩をお招きし『青年会議所のメリット、デメリットとは』をテーマとしてご講演をして頂きました。今回の高田先輩の講演で特に印象に残っていた箇所として、人間は、家族、仕事（学校）、仲間の3つの組織で成り立っており、千歳青年会議所は学生時代に所属していた部活動のような仲間が出来る団体であるとおっしゃっていました。私自身、入会動機が仲間をつくることでありましたので非常に共感を得ることができましたし、本当に青年会議所に入会して良かったと思っております。理由としては、青年会議所が大人の学び舎であると高田先輩がおっしゃっていましたが、異業種の経営者である正会員から青年会議所活動を通じて様々な知識、業界の情勢、会社の経営方針等を何気ない会話から聞いてそれを基に勉強させていただいたからです。このように利害関係のないメンバーから自己成長の場を提供してもらえるのは、千歳青年会議所の運動方針のもと、組織が一丸となって例会や事業に取り組んだ時間を共有することで、友情が育まれ固い絆が生まれることに尽きると思います。第二部の懇親会であります。青年会議所の例会は独特な雰囲気と緊張感が漂い、初めての方にとってはオブザーブ参加に少し抵抗を感じるケースがあることから、今回は「異業種交流会」という形式を取ることで参加しやすい環境を整えました。結果的に多くのオブザーバーと正会員が交流を深めたことで入会を検討する方を2名創出することに成功しました。来年度は会員拡大をテーマとした例会を増やして、同じ青年世代として活動するメンバーとの交流を通し、まちの未来を担う青年として共に活動する仲間をつくっていききたいと思います。



2018年度12月例会(卒業式例会)

日時	2018年12月07日(金) 18時～20時30分
場所	ANA クラウンプラザホテル千歳 2階千歳の間
テーマ	「感謝」
主管	総務委員会

【委員長所見】

2018年度を締めくくる例会を担当させて頂き、とても良い経験になったと同時に、この例会を持って卒業される正会員にとっては最後の例会ということで、計画段階から不安と重圧でいっぱいでした。しかし今年は例年よりも参列者の人数が多く、たくさんの先輩達に参列して頂くことをわかり始めてから、不安よりも日頃の感謝をここで少しでも伝わるように、卒業生をJCから少しでも良き思い出として送り出せるように、そして正会員の活動を少しでも労うようにと奮い立たせて準備をしてきました。反省点は多々あるかと思いますが、事務局・総務委員会・合同委員会、そして正会員と先輩達のお蔭で何とか終わることが出来ました。総務としては今年最初で最後の例会となりましたが、1年間で締めくくる事が出来たと思っております。本当にありがとうございました。



外部事業

スノーバスターズ2018

日時	2018年01月27日（土）
----	----------------

【事業概要】

スコップなどの用具は各自持参・呼応した企業が除雪用重機を無償提供して頂き、独居老人宅の排雪場所確保を目的とし、千歳空自衛隊千歳基地・東千歳駐屯地・北千歳駐屯地をはじめ行政関係・団体・企業の総勢700～800名が参加しました。



千歳ウェルカム花ロード2018

日時	2018年5月22日（火）
----	---------------

【事業概要】

北海道の空の玄関口新千歳空港周辺を、おもてなしの花で飾り訪れる方をお迎えすること、次世代を担う子ども達に「おもてなしの心」を育むことを目的としたシーニックバイウェイ北海道の活動の1つ。本年度は功績が認められ第24回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞。



第6回千歳市民討議会

日時	2018年06月24日（日）
----	----------------

【事業概要】

無作為抽出による市民が集まり、まちづくりに関するテーマについて情報提供を受けた上で話し合い、そこで出された意見を集約してまちづくりに活かす市民参加型手法。ドイツの住民自治手法の「プラーヌンクスツェレ」を日本風にアレンジしたもの。



活動報告

2018年度 一般社団法人千歳青年会議所
直前理事長

三澤 計史

まずは、一年間それぞれの環境にて精一杯活動していただいた全ての会員に対し御礼を申し上げたいと存じます。本年は、地域の皆様や会員に笑顔が溢れるまちづくりを行うことを基本的な理念とした運動展開に加えて、来年創立55周年という節目の年を控え、これまで継続してきた運動の社会や時代の変化に対する適応性を検証する年でもありました。月一回の例会では、会員個々の指導力開発を目的とした内容に加えて、会員相互の交流をより強く意識させ、組織力の向上を図りました。そして、アクティビティを中心とした例会にて、郷土愛をテーマとする地域の皆様との触れ合いの場を設け、会員が地域の皆様の笑顔を体感することが出来たことは、2018年度体制の大きな運動の成果となりました。さらに、本年は千歳科学技術大学との御縁から、『スマートネイチャーシティちとせ』推進産学官連携実行委員会に協力し、教育機関との連携についても学ばせていただくとともに、長年の継続事業であります千歳ウェルカム花ロードについて北海道外の行政機関の依頼を受けて事例を発表させていただくなど、地域や組織内だけでは収まらない活動の可能性を拓かれたことも大きな成果でありました。結びに、当青年会議所の活動にご協力をいただいた市内関係者、OB諸氏の皆様、そして何よりも会員をご輩出いただいた企業と会員のご家族の皆様に心より御礼を申し上げ、直前理事長の報告とさせていただきます。

2018年度 一般社団法人千歳青年会議所
副理事長

曾我部 喬

2018年度は、千歳青年会議所に入会して初の三役として「水のまち、空のまち千歳を彩る灯りとなれ」をスローガンに1年間活動して参りました。正会員を牽引していく立場となったことで自分がリーダーシップを発揮して運動を推進していけるかどうか不安もありましたが渡部理事長を始めとする三役や吉岡室長並びに伊藤委員長、優秀な委員会メンバーのご協力もあり自分自身の反省点もありましたが、役員としての最低限の責務を果たすことが出来ました。また、昨年度に引き続き「地域の魅力」輝く千歳創造運動の担当ラインとして吉岡室長を始めとする委員会メンバーとともに事業、例会を構築して参りました。新入会員が多く配属された委員会ということもあり、可能な限り年当初は、オブザーバーとして出席することで、個々の正会員がどのような想いを持って例会や事業構築していきたいかを理解して三役に対してどのように伝えていくかを意識いたしました。結果的には、志を高く持った新入会員が組織を牽引していくことで千歳青年会議所の花形事業であります千歳リバーシティープロジェクトや新たな手法を用いた例会を盛大に開催することができました。これもひとえに吉岡室長の新入会員に対しての指導力のお陰であると感じております。最後になりますが、このような素晴らしい仲間と理事長所信の基、1年間笑顔で活動することができた思い出を糧に来年度の青年会議所活動に対して真摯に取り組んでいくことをお誓いし役員報告とさせていただきます。

瀧 雄 一

創立54年という長きに渡る一般社団法人千歳青会議所の副理事長を拝命し、早いもので一年が経過しようとしております。年当初から市内関係諸団体、各地会員会議所の新年交礼会にはじまり、公益社団法人日本青年会議所並びに北海道地区協議会の事業や大会に多く随行させていただき、職務を務めて参りました。また、LOMに於いては「ふるさと愛溢れる千歳創造運動」を実践すべく安部室長、登立委員長をはじめとする郷土教育推進委員会の担当副理事長として一年間運動を進めていく中で、千歳の未来を形づくる子供たちに「ふるさと」に対する多くの学びと気づきをもっていただけたものと確信しております。渡部理事長が理想とした運動を全う出来たのかと一年を振り返ると、決して自分一人の力ではなく、多くのメンバーに支えられてここまで来られたのだと感じておりますし、副理事長という貴重な一年を過ごさせていただいたことに心より感謝を申し上げます。最後になりますが、これまでお支えいただいたすべての千歳青年会議所メンバーに最大限の感謝を申し上げ、役員報告に代えさせていただきます。一年間ありがとうございました。

大宮 裕輔

2018年度は、副理事長として志高い市民創造運動のもと担当する市民協働推進室と市民主体のまち創造委員会と共に事業・例会を構築して参りました。今年度は、例会の他にスノーバスターズや千歳ウエルカム花ロードなどの外部事業も担当し、特に千歳市民討議会は、今年度から真の独立に向けて、青年会議所主導から実行委員会主導による運営をサポートし、予定者の段階から実行委員会を開催し準備を進めるなど、まさに市民が主体となった運動を実践すべく、各事業・例会を構築して参りました。

千歳市民討議会では、討議テーマの選定などの準備から当日まで実行委員長を始めとする実行委員が何度も会議を重ね、討議会当日も実行委員会が中心となり運営出来たことは大きな成果となりました。今後、運営資金をどう確保するかなどの課題も残されておりますが、次年度以降の開催に向けて大きく踏み出すことが出来たと考えております。千歳ウエルカム花ロードやスノーバスターズなどの外部事業も行政や関係機関と連携し取り組んで参りましたが、年当初の抱負に掲げた正会員に対して各事業の歴史や背景を理解した上で参画していただくこと、今後の事業への関わり方や今のニーズに即した活動なのかを事業ごとにしっかり検証するという点では不十分な結果となり来年度へしっかりと引き継ぎしなければならないと考えております。

この一年、渡部理事長のもと副理事長としての職務を担えたこと、室長、委員会メンバーと共に活動できたことに感謝し、1年間の報告とさせていただきます。

富樫 昭大

本年度、専務理事を任されたこともあり、多くの貴重な経験を積ませていただきました。入会3年目で引き受けさせていただいた大役でしたが、専務理事が受ける情報量の多さに翻弄され、方針通りの細目で丁寧な情報伝達の難しさを痛感し、日々のLOM運営においてはメンバーに不満を抱かせてしまったかもしれません。しかし、今年度理事長が掲げた基本理念「一人ひとりの笑顔が、仲間の力になる」にもあるように、一人ひとりの笑顔を引き出し、対外関係者の皆様に我々の活動が伝わるような事業・例会を構築していく過程において、総務チームの長として多岐にわたってバックアップさせていただきました。一人で出来ないことも仲間と力を合わせれば実現できることを学び、皆に支えられ切磋琢磨出来たからこそ、地域の笑顔に出会い幸せな時間を共有することが出来たのだと思っています。今年度中の会員拡大には直接繋がっていませんが、笑顔の灯る千歳青年会議所の魅力を伝えていくことが今後の使命だと感じています。また、伝統に縛られず新たな取り組みに挑戦し続けた渡部理事長の強い意思を1年間1番近くで感じる事が出来た喜びと、JCだけではなく一人の経済人として多くのことを教えていただいたことに感謝申し上げます。結びに、多大なるご支援ご協力賜りました全ての方々に感謝を申し上げますと共に、今年度の貴重な経験を今後も地域のために活かして参ります。1年間ありがとうございました。

太田 憲之

三役経験もない私が、LOMのために厳しい意見を言う役目を担う事になり、任務を全うできるか不安な中の一年でした。本年度は渡部理事長のもと、「水のまち、空のまち、千歳を彩る灯りとなれ」をスローガンに事業や活動を進めてきましたが、昨年の年間報告書の会員拡大の頁でも触れていた様に、メンバー自らが大変さやつらさの方が前面に出ているため、それを払拭しない限り会員の拡大も進んでいかないだろうという中、LOM内に笑顔が多く見られるような取り組みを沢山行った一年だったと思います。また、対外に関してはいろんな団体や企業を巻き込んでの取り組みを行うなど、特色が窺えた一年でもあったと思います。対内に関しては、昨年度からもフロアメンバーの資質向上に取り組んでいたところではありますが、本年度は昨年度以上に会員の意識向上による組織力の底上げができたのではないのでしょうか。対内に関しては、良い流れができてきているかなと思う反面、対外に対しては、集客等で一定の成果をあげましたが、まだまだJCに対し、自分たちの行事には参加をお願いするのに、逆に各団体からお願いしてもなかなか顔を出してくれないとのイメージを払拭できていない面もありますので、協力していただいている関係諸団体への対応はLOM一丸となって取り組んでいってほしいと願うところです。渡部理事長の蒔いた種が花開き、次年度は会員拡大が進む事を心から期待し、監事報告とさせていただきます。

井溪 利光

昨年、一般社団法人千歳青年会議所を卒業させて頂きましたが、本年の2018年度では特別会員として監事という役職をいただき、最後のJC活動となります。これまでの経験から、JC活動を行っていく上で大切なことはたくさんありますが、その中でもすべてにおいて「なぜ?」「どうして?」といった視点をもつことが重要であると考えます。まちが抱える問題や課題があるからこそ、私たちJCは運動を行わなければならない。必要にかられて行動する団体であると考えます。そのことから理事会では、事業・例会の事業計画上程の中で最初に説明される実施に至る「背景」や「目的」を中心に発言させて頂きました。具体的な手法を考えていくことも重要ですが、まずは何を何の為にするのかといった理由「背景目的」を構築することでブレない計画書になろうかと思えます。例年のことながら新しい会員が理事として入ってくる中で、スタート時には背景目的に触れず大半の意見は手法についての意見が多く心配はありましたが、理事会を重ねるごとに計画書全体をとおして見られるようになり、理事の意見の内容が飛躍的に向上していました。また、日々の活動において新入会員が活発に動いている姿から、今後もJC運動を更に発展させる力となると強く感じました。最後になりますが、渡部理事長をはじめとする会員の皆様、本当にお疲れ様でした。今後も益々の活躍を期待し、監事報告とさせて頂きます。

伊藤 香織

2018年度千歳の魅力発信委員会では、千歳の地域資源を活かした新たな魅力の創造を目的として3回の例会、事業を担当し、新年交礼会においては「楽しい雰囲気」をコンセプトに従来の形式とは少し異なった演出をしました。4月例会では夏場には活用されていない千歳市民スキー場でグラススキー体験を楽しみ、地域の新たな魅力創出の可能性を対外に向けて発信しました。8月例会では、例年の浴衣の女性選手権に「こどもパレード」を加え、幅広い世代の方に関心を持って頂き新しい地域の活性化の一つに繋がりました。そして8月事業「CHITOSE RIVER CITY PROJECT」においては、「千歳川テラス × イルミネーション」をメインテーマに、更に開催初となるイルミネーションの装飾演出を実施しました。夜には桜並木に桜色のイルミネーションを施し、新たな観光資源としての創出致しました。当委員会ではメンバーの半数が新入会員という状態からスタートしました。議案作成から事業構築まで青年会議所の学びと実践を繰り返し、JAYCEEとしてのキャリア育成を図りました。結びに、2018年は委員長になり、助け合い、繋がり、地域という言葉の意味を考える年でした。至らない部分が沢山ありましたが、本当に多くのメンバーに助けを借りて、大変貴重な経験が出来き、多大なるご支援ご協力賜りました全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当に1年間ありがとうございました。

登立 太郎

2018年度郷土教育推進委員会では、特段子供たちが郷土愛を育み、未来のまちづくりに多く関わる事を目的として、3回の担当例会、そして事業を行い、「ふるさと愛」溢れる千歳創造運動を推進して参りました。まずは、3月例会にて市内の小学生4、5、6年生27名参加の元「ちとせっ子博士検定2018」を実施致しました。検定前には、千歳の基礎知識、観光、空港の歴史授業を行い、多くの小学生が合格できるように工夫し、結果は全員が合格し、「ちとせっ子博士」認定書を授与しました。そしてふるさとの歴史継承を目的として、小学生を中心に、市内の子供たちを集め、「134年の想い、今君たちへ 開拓～現在」をテーマに6月例会を開催し、134年前に第一次集団移住した先人の想いや歴史を学ぶ授業、開拓体験として丸太切り、更に中心街の歴史授業、その後中心街にて花植え、花壇づくりをしました。座学と体を使った体験を交互に配置する事で、飽きさせない工夫をしました。更に、8月に開催した事業「千歳ふるさとサミット2018」では、千歳の未来をテーマとし、市内の高校生4チームによる市民への発表を行い、最優秀賞チームには「千歳みらい大志2018」に認定しました。最後に行った10月例会「ちとせふるさとまつり2018」を開催し、戦闘車との綱引き、ステージイベント、地域で働く車コーナー、飲食ブースを設け、市内の多くの子供を連れた家族に会場に来て頂きました。

及川 進

一年間の活動を報告します。2月例会は支笏湖青の祭り会場にて千歳JCのPR、来場者へのおもてなし、広報力を磨くことを目的に青のカレーの配布及び来場者のSNS投稿による広報の期待をこめて実施致しました。来場者と触れ合い、おもてなしすることで来場者からの笑顔、メンバーの笑顔が沢山あったことが印象的です。運動方針や事業に取り向かう意識を高められる事を学ぶことができました。5月例会は恵庭及び北広島JCとの合同例会を開催しました。互いのJC活動のモチベーションを高めることを目的に運動会という手法を用い交流を深めました。この地域を支えていくことと、互いに成長できる存在でありたいと感じ、この経済圏を支える繋がり的重要性を感じた例会でした。9月例会は正会員間で意見交流をすることでJC活動への目的意識等を再認識することを目的にキャンプ場で夕刻以降、火を囲みながら語る例会を実施しました。委員会メンバー個々の力を発揮し正会員の皆へおもてなしできた事が喜びです。千歳青年会議所メンバーの熱い思いや課題を共有できた事はこの町で活躍する青年経済人としてのモチベーションや財産になったと感じています。スノバースターズ、千歳ウェルカム花ロード、千歳市民討議会、千歳川清掃事業での経験は、先輩諸氏の取り組み、その姿勢、千歳のまちを思う市民の気持ちを感じることができる貴重な経験をさせて頂きました。これらの活動をさせて頂けたことに感謝申し上げます。

沼田 大喜

一般社団法人千歳青年会議所として「笑顔」というテーマで2018年度は運動を推進していきました。我々総務としては総会や理事会などの運営や規律を遵守する活動をしつつも、各委員会の笑顔になる活動を支えながら自身達も2018年度を楽しく笑顔溢れるようなJC活動を1年行ってまいりました。至らない部分が多々ありつつも、今季で現役生活3年目の私にとっては青年会議所の中身の一部分を勉強や経験をたくさんさせて頂き、年初から年度末まで様々な見聞を広げられた有意義な2018年でした。平成最後という区切りとなる年に委員長という大役を受けさせて頂いた私の本年度の経験が、次年度以降の様々な活動に少しでも役に立つことになれば、総務委員長をやらせて頂いた意味を改めて持つかと思えます。そして他の委員会と垣根を越えた合同委員会や部会活動など様々な経験させて頂き、また12月卒業式例会という今まで苦楽を共にした卒業生の現役生活を締めくくる大切な例会を担当させて頂き、卒業生を送り出すためにどうしたら喜んで頂けるか、どうしたら先輩達に感謝の気持ちを伝えられるのか、悩みながらも委員会の垣根を超えみんなに助けて頂き無事行うことが出来ました。結びとなりますが本年度お世話になった皆様に心からの御礼と、また次年度も青年会議所活動にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げ、2018年度総務委員会委員長の年間報告とさせていただきます。

出向者報告

2018年度 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会
北海道創生室 室長

三澤 計史

北海道地区協議会に北海道強靱化推進委員会と、イノベーション人財育成委員会という2委員会を担当する室長として出向させていただきました。北海道強靱化推進委員会の職務は、インフラ投資の促進と防災・減災に関わる運動の推進により、国土の強靱化に寄与することでありました。5月にはJCフォーラムにてインフラ投資促進による経済再生という切り口でフォーラムを担当させていただき、一年間を通じ北海道内9会員会議所の皆様と共に、自らの住まう地域を強靱化していくためのワークショップを開催させていただきました。中盤以降は9月6日に発災した北海道胆振東部地震により、特に被害の大きい地域となった厚真町の被災地支援を行わせていただきました。イノベーション人財育成委員会は、北海道内各地の地域課題を起業という切り口で解決する社会起業家を育成することにより、地方創生へと繋げていくことを職務としました。旭川・苫小牧・むかわの高校生を対象に、在学中に起業した現役の大学院生による起業家マインド醸成講座や、東京取引証券所のJPXアカデミー担当講師による経営講座を含む、計16回の出前講座を実施しました。加えて、深川青年会議所とも連携し、拓殖大学北海道短期大学の学生を対象とした出前講座も実施させていただきました。最終的には、当委員会の起業家マインド醸成講座を各地で活用できるようパッケージ化し、各地会員会議所の皆様に紹介しております。

2018年度 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会
広報渉外委員会 委員長

曙 嘉輝

本年度は公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会広報渉外委員会に委員長として出向させていただきました。広報渉外委員会が担った大きな役割としては3点あり、一つ目は「JCの存在価値を高めていく効果的な広報の実践」、二つ目は「各地会員会議所との情報連絡体制の確立」、三つ目は「各委員会の対外情報発信の統制と推進」でした。広報活動に関しては費用対効果を考えながら前年度までに構築された広報媒体から取捨選択を行い情報発信し、新たにLINE@による発信にも挑戦しながら事業を構築して参りました。北海道地区協議会、各委員会、そして各地会員会議所が展開する運動や事業を一年間通して拡散したいという思いで活動して参りましたが、上手く連携が取れず思うような情報発信ができなかったのも事実です。この情報発信を安定して行うためには、協力体制の構築が必要不可欠であり、お互いの信頼関係も重要になってきます。これはLOMに置き換えても言えることであり、各委員会間の協力体制の構築や個々人の信頼関係を創り上げていくことが、千歳青年会議所の運動を広げていく一番の道であると確信しております。来年度はこの地区への出向で培った経験と知識、人脈を遺憾なく発揮し、千歳青年会議所の運動がより輝かしいものとなるよう導いて参ります。最後に、一年間共に出向してくれた佐藤一馬君、平砂千尋君に感謝申し上げ一年間の出向者報告とさせていただきます。

佐藤 一馬

本年度、公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会広報渉外委員会に幹事として出向させていただきました。本委員会ではJ Cのブランド力を高めるために広報活動を行い、北海道地区協議会や各L O Mの諸事業に向けた取組みを各ツールに活用して発信することで参加推進を図って参りました。対内の情報共有ツールに新たにL I N E @を導入し、情報の受信が手軽であることから既存メルマガ以上に登録者数の伸びを見せ、今後の主力ツールとなっていくことと思います。4月に開催した北海道J Cフォーラム2018では、J C運動を北海道民に広く発信するために、ポスターやチラシ、H P・F a c e b o o k、札幌地下歩行空間デジタルサイネージ・プレスリリース配信会社の利用など広報ツールを駆使しクロスメディア戦略による広報を行いました。残念ながら会場を満員にすることはできませんでしたが、Y o u T u b eによる生中継を行うことで来場できない北海道民の意識共有を図りました。最後に、4年間青年会議所に在籍し最初で最後の出向でしたが、全道各地で開催された北海道を代表する熱いJ A Y C E Eが集う正副・役員会議を毎回オブザーブし、深夜まで議案に真摯に向きあったことで、多くの仲間との出会い、絆を深めることができました。一年間広報活動にご協力いただいた皆様、出向の機会を与えていただいた千歳青年会議所メンバーに感謝を申し上げ、出向の報告とさせていただきます。

平砂 千尋

広報渉外委員会への出向のお話を頂いた時は、果たして私のような者に出向者としての担いが務まるのかという不安が先立ち、今までにない緊張を感じた事を思い出します。しかし、全道に活動領域を広げる事は新しい人との出会いや学びの機会を得られるという期待もあり、修練の為にと決意しました。私は広報渉外委員会の委員として地区協議会の会議や事業に赴き、その現場を撮影するカメラマンとしての活動を中心に出向活動をして参りました。その中で各種会議における議論厳しさや上程者、質問者の事業構築に対する真摯な態度に触れ、地元L O Mでは感じた事のない熱量を感じる事ができました。また、出向者は時間と労力を地区の活動に捧げる事になりますが、苦勞の分だけ多くの経験と友情を築いている事が伝わりました。今後はこの貴重な経験を踏まえ、事あるごとに仲間と活発に議論し、深い絆が生まれるよう精一杯J C活動をさせて頂きたいと思います。私を含む全道のJ C正会員の中には地区協議会の活動内容について知る機会が得られず、興味を持つ事ができない方もいるように思います。この度担いを頂いた地区協議会の広報活動が一人でも多くの正会員の目に触れ、少しでも機会の創出に繋げる事ができたなら幸いに思います。最後に私を地区協議会に送り出して頂きました千歳青年会議所の皆様に感謝申し上げますと共に、不出来な私をご指導下さいました広報渉外委員会の皆様に厚く御礼申し上げます。

道央エリアアカデミー塾 塾生

生杉 隆礼

2019年1月に青年会議所に入会し、1年目で道央エリアアカデミー塾へ出向させて頂きました。まず、今年度のアカデミー塾では道央エリア各LOMの理事長が塾長となり、少人数制の塾とすることで、より深い交流が出来るという試みでした。私は、美唄青年会議所三浦理事長のもと、塾生並びに美唄青年会議所のメンバーと交流する機会を与えて頂きました。そして、講演やグループディスカッションを通じて、JCの本質や青年会議所会員としての心がけ等を学ぶことができました。アカデミー塾での学びや経験そして仲間との絆を、今後のJC活動に生かして参ります。このような機会を与えて頂いた北海道地区協議会の皆様に心より感謝申し上げます。

道央エリアアカデミー塾 塾生

岡田 武

本年度道央アカデミー塾 砂川塾へ参加させて頂きましたが、結果的に参加回数1回という大変不甲斐ない状態で閉校を迎える事となってしまいました、参加できなかった理由を並べれば、本当に言い訳に等しい理由ばかり、仕事の都合ばかりだったことが悔やまれてなりません、もっと自信のスケジューリングをきちっとできていれば、こんな事にはならなかっただろうと後悔しかありません、折角いろんな地域の方と交流が出来るチャンスだったのにと今になって思ってしまう、チャンスを生かすことが出来るかどうかは本人次第なのだと思います結果となってしまいました。

道央エリアアカデミー塾 塾生

斉藤 創

私は今回社業の為、一度も参加することができず何かを感じ取るということはできませんでした。参加したいという気持ちはありましたが、第一回目の出向の前に委員長からアカデミーの方向性や思いなどメールで拝見したところ“夕張のまち”の現状と今後の活性についての内容でした。これを、本気で考え当アカデミーで行動を起こしそれが少しでも成功事例になれば素晴らしいモデルになるのではないかと思います。これをきっかけに千歳の優位性やこれからの発展をさらに考えることができ、今後のJC活動に活かしていこうと思いました。次年度アカデミー出向者にはぜひ参加していただきたいと思います。

佐藤 剛

2018年に一般社団法人千歳青年会議所に入会し、道央エリアアカデミー塾に出向させて頂きました。本年は各LOMの理事長が塾長を務めるシステムの中、私は勝木塾長率いる札幌塾に配属となり「原体験」と「楽しむこと」をテーマに大変多くのことを学ばせて頂きました。中でも、日本青年会議所の理事会をオブザーブさせて頂いた東京遠征では、議案数や事業予算の規模に大変驚かされました。そして、一年間の活動を通して絆を深め情報交換や相談が出来る仲間が他LOMにも出来たことが、大変貴重な財産になったと感じております。最後に、アカデミー塾を運営頂いた皆様、支えて頂いた千歳青年会議所の皆様に感謝申し上げ報告とさせていただきます。

林 征希

まず第2回と第3回の研修塾にしか参加できなかったことは反省すべき点ですが、報告させていただきます。第2回アカデミー研修塾では美唄市の高橋幹夫市長の講演を通して、美唄市の歴史や現状、今後の展望などを知ることができ、今後のJC活動への刺激となりました。講演後のディスカッションでは、北海道の札幌市以外の都市が抱える問題点や、その問題点を解決するためのアイデアがたくさん聞けて、勉強になりました。第3回アカデミー研修塾では、札幌JCの神代晃嗣直前理事長の講演を通して、JCだからチャレンジできる、大規模なアイデアを実現できる、という熱い言葉の数々は、今後のJC活動へのモチベーションが上がる、素晴らしい時間となりました。

村井 英俊

2018年度新入会員として道央エリアアカデミー塾に出向させていただきました。青年会議所がどのような団体であるか分からない中でのアカデミー塾出向はやや受動的であったと反省しています。個人的にはLOMで一年間活動した後に参加した方が、より他LOMの方々と深い交流ができ、より有益な経験へと繋がったのではないかと感じています。これはあくまで私見ではありますが、この経験は次年度以降に入会する会員がアカデミー塾出向を検討する際の一つの材料として、しっかりと繋いでいきたいと思います。

様々な貴重な体験、そして青年会議所でなければ出会うことのなかった「仲間」との出会いの機会を提供いただいた関係者各位に感謝申し上げます。

会員褒賞

例会出席率100%会員褒賞受賞者

渡部 順大 曾我部 喬 大宮 裕輔

安部 優雅 坂口 直希 佐藤 剛 中田 愛

特別会員褒賞

ベストスマイル賞

2018年度、最も笑顔で活動した正会員を選出し表彰

受賞者 斉藤 創

絆賞

2018年度、委員会の垣根を越えて活躍した正会員を選出し表彰

受賞者 佐藤 剛

MVP賞

2018年度、最もJAYCEEとして活躍した正会員を選出し表彰

受賞者 三澤 計史

ベスト委員会賞

2018年度、年間を通じ最も一丸となり、事業例会を作り上げた委員会を選出し表彰

受賞委員会

郷土教育推進委員会

会員拡大対象者の皆様へ



2019年度 一般社団法人千歳青年会議所
理事長

曾我部 喬

私、一般社団法人千歳青年会議所2019年度理事長の曾我部と申します。来年度は、会員拡大に力を入れて活動させていただきますので皆様へのメッセージを簡単ではございますが記載させていただきます。千歳青年会議所は約30名の正会員が在籍しており、千歳のまちをより良くしていくために活動している団体です。例年、会員拡大には取り組んでおりますが、価値観が多様化した現代において、青年会議所に入会して頂くまでの過程に到達する事は、決して簡単ではありません。ここ数年は、千歳青年会議所の例会にオブザーバーとして参加して頂いた場合も、時間内で活動に対して共感を持って入会の意思決定をする人は少ないという現状があります。現状の解決策として会員拡大例会を増やしていくとともに、対象者の皆様に対しましては、年間を通じて気軽に青年会議所メンバーとコミュニケーションを図ることができる環境を整えていくよう組織体制を構築していきたいと考えております。このような環境構築の中で、正会員に魅力があるから入会したいと思って頂けるよう青年経済人として日々、謙虚に自己成長するための気概を常に持ちながら活動をさせていただきます。私自身、青年会議所に入会して良かった点として、青年会議所は「大人の学び舎」であると言われておりますが、異業種の経営者である正会員から青年会議所活動を通じて、様々な知識、業界の情勢、会社の経営方針等を何気ない会話から聞いてそれを基に勉強させていただきました。このように利害関係のないメンバーから自己成長の場を提供してもらえるのは、千歳青年会議所の運動方針のもと、苦楽を共に組織が一丸となって例会や事業に取り組んだ時間を共有することで、友情が育まれ固い絆が生まれることに尽きると思います。来年度は、同世代として活動するメンバーとの多くの交流を通しまちの未来を担う青年として共に活動する仲間をつくらしていきたいと思っております。

このメッセージをお読み頂いた皆様にも、2019年度の青年会議所活動をご覧いただき、ご興味を持って頂ければ幸いです。私からのメッセージは以上となります。何かのご縁があった際は宜しく願いいたします。